

全国自治体のインフラメンテナンス 見える化について

全国自治体のインフラメンテナンス見える化の方向性

目的

市町村別のデータを用いて、インフラメンテナンスに関する実態を
見える化

(例：インフラの量・質、予算、自治体の体制、地元事業者の体制、メンテ
ナンスの取組状況 等)

- ①各自治体に危機意識を自分事化してもらう(職員、住民等)
- ②全国自治体の全体像から群マネのターゲットを抽出する

想定される 活用シーン (例)

- 自治体職員が住民や庁内、議会等へ説明する資料
⇒他の自治体と比較したレーダーチャートやマップ 等
- 自治体職員が施策検討する際の判断材料
⇒近隣自治体の状況を踏まえた連携方策の検討、インフラの集約撤去の
検討 等
- 自治体類型に応じた手引きの作成
⇒自治体を類型化し、各課題に応じた処方箋を提示 等

* 分析フロー(イメージ)

活用可能な
市町村別データ
の整理

自治体規模別の傾向分析
(指標のマクロ分析、
散布図分析 等)

各自治体の強み・弱点
の見える化

全国自治体データの公開方法イメージ(カルテ様式)

○ 自治体職員等が自分のまちのデータを出力できるよう、Excelデータやカルテ様式を公開予定。
 ※人口規模が同程度の自治体の平均値と比較。

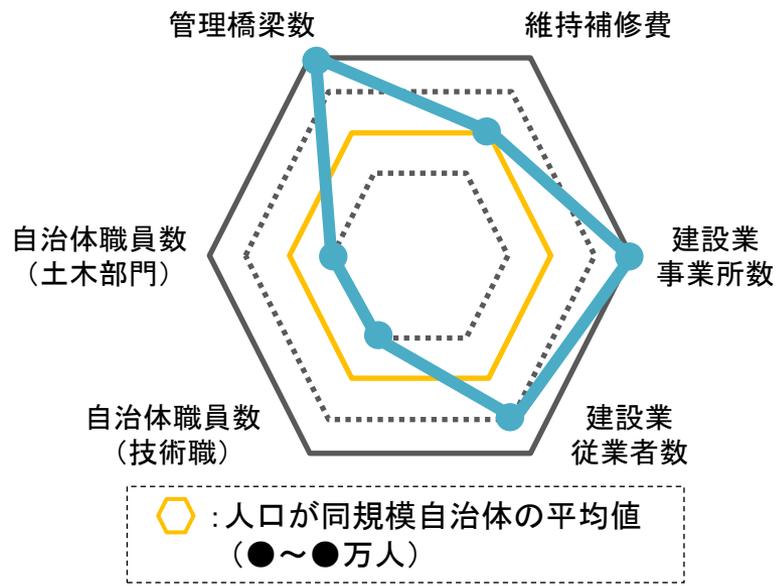
(イメージ)

インフラメンテナンスレポート(仮称)【●●市】

保有するインフラの状況(数量、老朽化状況等)

道路延長	橋梁	トンネル
------	----	------	-----	-----	-----

指標分析



取組ステータス

修繕措置率	新技術活用	国民会議の参加
包括的民間委託
...

○ インフラメンテナンスに関わる各種指標について、全国マップでの見える化も検討。

(イメージ)

インフラメンテナンス見える化 全国マップ(仮称)

指標選択

①インフラの量・質 ▼

②予算 ▼

③自治体の体制 ▼

- 技術系職員数
- 土木部門職員数
- 建設業従業者数
- ...

④事業者の体制 ▼

⑤メンテナンスの
取組状況 ▼

全国マップ

【技術系職員数】

- 0～5人未満
- 5～10人未満
- 10～30人未満
- 30～50人未満
- 50人以上

